

大空とてうた

私は走すやが あそい

運郵倉の所 さいばいにて 出入くうりて

走す かつた一番うしろに

次のカール下も走つてくる

そのカール下の一番急との競争だうた

走すに牛で居る

終るのととも すい うかばあ

じつと有り居るても 以たり是が今の

いさと言う時の

ひろゆき 読経 もあやしい

いよいよ手をあてる

二人のふしの 決行 実行

八十年号と前の二と

今も見ると と思つてい

終戦の年の八月十四日 不^レ知^レん 専^レ言^レ

愛読の二冊

それと 贈金五金部 あつて

大型の股を買ひ

高表道具 冢野道具 石石み^レる^レの^レ世^レ

自分達で遊覧してかえつて来た
 地ライの多い下ノ園をさげり
 九州へかえつてきた
 おちろん 運転知ろろん
 おまかじ どりかじ 帰つて来た
 おまかじだ
 りきとわう 出まゝおろ 豊産かもしねん
 いつも頭の中におし運のこと
 しつかり頭の甲はめつりり
 埼玉は日本へ幸福を祈といわれりり

2025
1/29

そやううでやうたい